

質 問 回 答 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2021 年 5 月 11 日

「パラオ国送電網整備計画準備調査」

(公示日:2021 年 4 月 21 日/公示番号:21a00114)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	—	見積書について、2021 年 3 月 18 日改定の「コンサルタント等契約における現地渡航再開に当たっての経費の取り扱いについて」では特例措置の期間が 2021 年 9 月末までとなっております。本件名では、1 回目渡航で現地調査等を実施し、報告書案を 2 回目渡航で先方に説明する予定ですが、この 2 回目渡航は特例措置期間外になります。2 回目渡航に関するコロナ対策関連費用は、見積書での計上が必要でしょうか。	現地渡航再開に当たっての経費につきましては、現在、2021 年 9 月末までを別見積として計上可能です。2021 年 10 月以降分につきましては、契約締結後に、JICA が必要と認める場合は契約変更等により必要経費を別途計上頂くこととなりますので、現時点での見積計上は不要です。
2	企画競争説明書_第4章業務実施上の条件_(1)業務工程	「2021 年 7 月下旬より第 1 次現地調査を行い、現地調査序盤において事業規模を特定すること。」とありますが、事業内容ではなく、概算事業費との理解で宜しいでしょうか。また、特定とは貴機構と調査団の間の認識を持つことか、パラオ側に説明して基本的合意を得ることのどちらでしょうか。	概算事業費は概略設計・積算作業を通じて算出する予定であり、現地調査序盤では弊機構と事業費大枠を協議の上、それを踏まえて先方実施機関との協議等を通じ、事業規模、つまり本無償資金協力の対象となる事業スコープの特定・絞り込みを行うことを想定しております。「事業規模の特定」については、当機構と調査団だけでなく、パラオ側に説明し基本的合意を得ることも含めます。但し、最終的な事業内容の確定は概略設計・積算後となる点には

			ご注意ください。
3	企画競争説明書__別紙__自然条件調査仕様書(案)__2. 調査項目__(1)送電線ルート調査及び地形測量__成果品:	「送電線縦断測量図」とありますが、今回の 34.5kV 送電線の 신설で必須となる成果品でしょうか。	別紙は自然条件調査仕様書の案であり、「送電線縦断測量図」が概略設計・積算で不必要ということであれば成果品として必須ではありません。
4	P4 第1章7(2)のプロポーザル等の提出方法	—	<p>以下の通り一部変更します。</p> <p>【変更前】 なお、具体的な提出方法につきましては、「業務実施契約の公示にかかる説明書等の受領方法及び競争参加資格確認申請書・プロポーザル・見積書等の電子提出方法（2021年1月25日版）」を参照願います。</p> <p>【変更後】 なお、具体的な提出方法につきましては、掲載予定の「業務実施契約の公示にかかる説明書等の受領方法及び競争参加資格確認申請書・プロポーザル・見積書等の電子提出方法（2021年5月12日版）」を参照願います。以下にご留意ください。</p> <p>1) <u>プロポーザル等はパスワードを付けずに GIGAPOD内のフォルダに格納ください。</u></p> <p>2) <u>本見積書と別見積書は GIGAPOD 内のフォルダに格納せず、PDFにパスワードを設定し、別途メールで e-koji@jica. go. jp へ送付ください。なお、パスワードは、JICA 調達・派遣業務部からの連絡を受けてから送付願います。</u></p>

以上